

平成30年度県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに係る アンケート調査結果について

- ・ 県教育委員会では、県立高等学校生徒、県立中等教育学校後期課程生徒及び県立特別支援学校高等部生徒を対象として、セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という。）に関する平成30年度アンケート調査を実施した。
- ・ 今回から、新たに全県立学校の全教職員を対象として、教職員のセクハラ実態を把握するための調査を実施した。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 県立学校生徒のセクハラに対する理解を深めるとともに、県立学校におけるセクハラの実態を把握し、被害に対応する。
- イ 教職員及び生徒の注意を喚起し、セクハラ意識の向上を図るとともに、学校におけるセクハラ行為の防止を図る。

(2) 調査対象等

ア 調査対象

- ① 県立高等学校（全課程）142校、県立中等教育学校（後期課程）2校、県立特別支援学校（高等部）28校の全ての生徒及び教職員（外部指導者を含む）
- ② 調査対象人数は、生徒約 130,900 人、教職員は約 15,900 人

イ 調査内容

- ① 生徒については、平成30年度の学校生活の中で、自分自身がセクハラ被害を受けたり、他の生徒が被害を受けたことを知っている場合に、答えられる範囲で任意に回答
- ② 回答は学校名と学年を記入することを原則とし、氏名については被害の実態を回答しやすいよう無記名でも可
- ③ 教職員については、セクハラ言動について自己申告または他の教職員による目撃情報を調査用紙に記入し、校長に回答

ウ 調査方法

- ① 全生徒に対し、学校を通じて啓発資料とともに、アンケート用紙及び回答用紙を配付
- ② 生徒は自宅等で回答用紙に記入し、郵送受付期間〔平成31年1月25日（金）～3月31日（日）〕に県教育委員会へ直接郵送
- ③ 教職員は、調査用紙に記名のうえ、自身及び他の教職員のセクハラ言動について有無を回答し、有の場合は具体的内容を記載して校長に提出

エ 調査対象期間

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（教職員については平成31年1月調査時点まで）

2 調査の結果

生徒への調査

(1) 回答状況

被害を受けたという回答数 55通 (内訳：男子13通 女子30通 不明12通)

(2) 被害状況 (複数回答)

被害を受けたと回答した55人のうち、「自分自身が被害を受けた」との回答は43人、「他の生徒が被害を受けた」との回答は25人であった。

回答内容 (複数回答)	人数
自分自身が被害を受けた	43人
他の生徒が被害を受けた	25人

*上記のどちらにも記載がない回答は、「自分自身が被害を受けた」に含めている。

*上記のうち両方に回答したのは13人

(3) 自分自身が被害を受けたという回答のセクハラの実行者 (複数回答)

セクハラの実行者 (複数回答)	件数
先生	24件
生徒	15件
部活動の指導者 (顧問の先生以外)	1件
その他	6件
計	延べ46件

(4) 自分自身が被害を受けたという回答の被害内容 (複数回答)

被害の内容 (複数回答)	件数
必要もないのに体に触られた	20件
性的なからかいや冗談などを言われた	15件
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	5件
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	4件
性的な関係を求められた	2件
その他	16件
計	延べ62件

(5) 学校が特定される回答

被害を受けたという回答55通のうち、学校名が特定された54通については、当該校の校長にアンケートの回答内容を県教育委員会から連絡した。

事実確認が必要な回答については、学校長が調査をし、校内の実行者が判明した場合は直接指導し、判明しなかった場合でも教職員や生徒に対する注意喚起等の措置を講じた。

教職員への調査

(1) 報告状況

セクハラと言動についての報告事案数 8校 10件

(校種内訳：高等学校6校、特別支援学校2校)

(2) 事案状況

報告事案のうち、「他教職員からの目撃情報等」によるものが9件、「本人の申告」によるものが1件であった。

報告内容（複数回答）	件数
他教職員からの目撃情報等	9件
本人の申告	1件

(3) セクハラと言動の内容

セクハラと言動の内容	件数
必要もないのに体に触れた	6件
性的なからかいや冗談などを言った	3件
その他	1件
計	10件

(4) 学校の対応

報告を受けた10件すべてにおいて、学校長が調査をし、教職員に対する注意、指導などの措置を講じた。

3 結果の総括と今後の対応

(1) 結果の総括

生徒への調査

- 被害を受けたという回答は、昨年度の46通に対し、55通と増加した。
- 教職員から被害を受けたとする回答の内容は、例年同様「必要もないのに体に触られた」「性的なからかいや冗談などを言われた」が多かった。
- 被害を受けた生徒の対応については、「友だち、家族など身近な人に相談した」が20件と最も多く、「学校の先生や相談窓口などに相談した」が12件の他、「学校内のアンケートに記入した」など、相談をした件数は昨年度とほぼ同数だった。また、「何もしなかった」という回答は11件と、昨年度と同数であり、引き続き問題解決に向けて、生徒が行動を起こすことができるよう相談しやすい環境づくりを進めていく必要がある。

教職員への調査

- 「必要もないのに体に触れた」 6件、「性的なからかいや冗談などを言った」 3件が報告のほとんどであった。

調査全体を通して

- 教職員にセクハラのはつきりはなくても、生徒がセクハラと受けとめる場合があることから、今後もアンケート調査の結果を踏まえて、生徒がどのような言動をセクハラととらえているのかを具体的に示し、注意を促す必要がある。
- 授業中に注意を促すための身体接触、技術指導や安全確保のために必要な身体接触等を生徒がセクハラと受け止める場合があり、不用意な身体接触はしないとともに、指導を要する場合は言葉で丁寧な説明をするなど、対応について注意を促す必要がある。

(2) 今後の対応

ア 生徒向け…セクハラ防止の啓発と校内人権相談窓口等の周知

- ① 啓発資料（※）を全県立学校生徒に配付（4月）
 - ② セクハラ相談窓口を含む相談窓口一覧ポスター（※）を各校に配付、各校において校内人権相談窓口の周知を要請（7月）
 - ③ セクハラ防止啓発ポスターを各校に配付（9月）
 - ④ 令和元年度セクハラ調査の実施（12月以降）
- （※） 特定非営利活動法人のLINE相談窓口を新たに紹介

イ 教職員向け…啓発資料の提供と研修での活用

今回のアンケート結果を掲載した教職員向け啓発資料を作成し、各県立学校へ提供し研修会等での活用を要請

※ 調査結果の詳細（教職員の調査結果を除く）は別紙のとおり。

平成30年度県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに係る
アンケート調査結果について

【質問1】 セクハラを受けたことがあるか（複数回答）

【質問1】
学校生活でのセクハラについて、次の中からあてはまるものを選んでください（ア、イの複数回答ができます）。

校 種	ア、イのどちらか又は両方に○をした回答数	ア	イ
		自分自身が被害を受けた	他の生徒が被害を受けた
高等学校	50	38	23
中等教育学校			
特別支援学校	4	4	2
不明	1	1	0
合計	55	43	25

○ 43人から「自分自身が被害を受けた」ことがあるとの回答があった。

【質問2】① (自分自身が) 誰から被害を受けたか

【質問2】①

あなたは誰からセクハラを受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。

回 答 項 目	件数
ア：先生	24
イ：生徒	15
ウ：部活動の指導者（顧問の先生以外）	1
エ：その他	6
計	46

- 「先生」が24件と最も多く、次に「生徒」が15件、「部活動の指導者」は1件あった。

【質問2】② (自分自身が) どのような被害を受けたか (複数回答)

【質問2】②

どのような被害を受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。
(複数回答ができます。)

回 答 項 目	件数
ア：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	4
イ：性的なからかいや冗談などを言われた	15
ウ：必要もないのに体に触られた	20
エ：性的な関係を求められた	2
オ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	5
カ：その他	16
計	62

○ 被害の内容としては、「必要もないのに体に触られた」が20件と最も多かった。

【質問2】③ (自分自身が) いつ被害を受けたか (複数回答)

【質問2】③

いつ被害を受けましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。
(複数回答ができます。)

回 答 項 目	件 数
ア：授業中	16
イ：部活動中	9
ウ：その他	24
計	49

- 「授業中」が最も多く、16件あった。「部活動中」は9件あった。その他の24件の内容には、休み時間等10件、登下校時2件等があった。

【質問2】①②③ セクハラ行為別の行為者、場面（複数回答）

【質問2】

①あなたは誰からセクハラを受けましたか。

②どのような被害を受けましたか。

③いつ被害をうけましたか。

回答項目	①				② 件数 (再掲)	③		
	ア…先生	イ…生徒	ウ…部活動の指導者	エ…その他		ア…授業中	イ…部活動中	ウ…その他
ア：携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	2	0	2	4	0	0	4
イ：性的なからかいや冗談などを言われた	10	3	0	2	15	6	2	7
ウ：必要もないのに体に触られた	12	5	1	2	20	8	6	8
エ：性的な関係を求められた	1	0	0	1	2	0	0	2
オ：「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」などと性別により決めつけられた	4	1	0	0	5	3	1	1
カ：その他	4	9	1	2	16	5	2	11
計	31	20	2	9	62	22	11	33

○ 「必要もないのに体に触られた」については、「先生」が12件で最も多く、「授業中」が8件で最も多かった。

○ 「性的なからかいや冗談などを言われた」については、「先生」が10件で最も多かった。

【質問2】④ (自分自身が) 被害を受けてどうしたか (複数回答)

【質問2】④

被害を受けてどうしましたか。次の中からあてはまるものを選んでください
(イ～オは複数回答ができます)。

回答項目	件数
ア：何もしなかった	11
イ：態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	10
ウ：友だち、家族など身近な人に相談した	20
エ：学校の先生や相談窓口などに相談した	12
オ：その他	9
計	62

- 「何もしなかった」が11件、「友だち、家族など身近な人に相談した」が20件、「学校の先生や相談窓口などに相談した」が12件あった。
- 「態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた」は10件であった。

【質問2】⑤ (自分自身が受けたセクハラは) 現在どうなっているか (複数回答)

【質問2】⑤

現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中からあてはまるものを選んでください。
(複数回答ができます)

回 答 項 目	件数
ア：被害を受けなくなった	21
イ：被害を受け続けている	17
ウ：二次被害を受けた	5
エ：その他	8
計	51

- 「被害を受けなくなった」が21件と最も多く、「被害を受け続けている」が17件、「二次被害を受けた」が5件であった。

【質問3】 (他の生徒が) 誰からいつどのような行為を受けたか

(自由記述から読み取り・複数回答)

【質問3】

他の生徒が被害を受けたことを見たり聞いたりした場合は、「誰が、誰から、どのような被害を、いつ受けたか等」について、答えられる範囲で具体的に記入してください。

○「友達が」、「先生から」、「性的なからかいや冗談などを言われた」に該当する記述が多かった。

参考

県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに係るアンケート調査結果概要

		平成30年度	平成29年度	平成28年度
対象生徒		約130,900人	約132,200人	約133,300人
① 自分自身が被害を受けた・他の生徒が被害を受けた生徒数	高等学校	50人	35人	43人
	特別支援学校	4人	9人	5人
	不明	1人	2人	2人
	計	55人	46人	50人
② ①のうち自分自身が被害を受けた生徒数	高等学校	38人	29人	29人
	特別支援学校	4人	9人	4人
	不明	1人	1人	2人
	計	43人	39人	35人
③ ②におけるセクハラ的行為者別行為件数	先生	24件	17件	13件
	生徒	15件	22件	15件
	部活指導者	1件	3件	5件
	その他	6件	4件	8件
	総数	46件	46件	41件
④ ②の被害内容の上位2項目(複数回答)	先生からの被害	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①性的なからかいや冗談などを言われた ①必要もないのに体に触られた	①性的なからかいや冗談などを言われた ②必要もないのに体に触られた
	生徒からの被害	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた	①必要もないのに体に触られた ②性的なからかいや冗談などを言われた